

令和元年6月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会  
 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内  
 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



鷹山宇一「紫陽花」1956年デッサン（鉛筆・水彩）

「ガクアジサイ」

それは長い梅雨がやっと明けた七月中旬のことだった。長雨でなかなか乾かない小品を父は庭に干していた。中野駅から徒歩三分で50坪の庭が付いたマンション。自宅庭から隣接した料亭「ホトギス」のうっそうとした木々が借景となり都内とは思えない景観に誰もが感嘆した。そんな庭に白のガーデン円卓と椅子の上に父の作品が置かれ、幼い孫達が仲良く遊んでいる。映画のワンシーンのようであった。しかし穏やかな昼前の平和が突然父の叫び声で吹っ飛んだ。昼食の仕度をしていた孫の母親たちは慌てて庭に飛び出した。子どもの身に何が、と私は激しい動悸と闘いながらテラスに出た。

何と庭では子ども達がパイル地のパンツを脱いでキャツキヤツと声をあげている。よく見ると干してある絵に向けて小ぢやかなオチンチンを出していた。小品の真中に描かれている赤い薔薇にオシッコを引っかけたのではないか。たまたまアトリエの窓から父が見つけ大声を出したのだ。オロオロしている妹たちのそばに朝から庭仕事をしていた母がホースを持ってきた。勢いよく出した水で母は平然と絵を洗い始めた。父は安堵して窓を閉め、叱られた孫たちはシユンとなり、妹たちはタオルでそっと絵を拭く。母は何事もなかったように挿し木から大切に育てている「ガクアジサイ」に水を遣り始めた。

母の口癖は「命に拘わること以外、人生に大したことはない」である。家事が嫌いで誰かが食事を作ってくれるまで庭で好きなことをしていた母。大雑把と言うか、雑と言うか、面倒なことを嫌う母が、繊細でデリケートな父をどれほど救ったことか。私は父の細い、母の太い神経も決して欲しくない。ごく普通の神経で日々を過ごして行きたいと思っ

館長 鷹山 ひばり

# 鷹山宇一記念美術館友の会

## 令和元年年度通常総会開催



通常総会に先立ち来賓挨拶される鷹山ひばり館長

鷹山宇一記念美術館友の会令和元年度通常総会が令和元年6月8日午後2時から開催。平成30年度事業報告、貸借対照表並びに収支計算書及び平成30年度剰余金処分案、令和元年度事業計画(案)及び会員計画(案)並びに収支予算書(案)等全ての承認議案が原案どおり承認され、本年度の事業体制が整いました。なお、通常総会議案書を別添のとおり同封致します。

本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 「感動の旅中欧3カ国周遊・美術紀行8日間」

鷹山宇一記念美術館友の会設立25周年記念第7回友の会海外研修旅行は5月7日から14日までの8日間の日程で催行、参加された27名の会員から一言旅行記をお寄せ頂きましたので、本号95号と第96号・第97号で紹介致します。

(敬称略・五十音順)

#### 七戸町 伊藤敦子

今回の旅は、過去6回を仕事の都合であきらめ続けた自分への最高のご褒美となった。

吹奏楽部員だった私にとって、憧れの土地ウィーン。日曜美術館でしか会うことの出来ない絵画の数々。クリムト、ルーベンス、ブリューゲルの、ミレー、フェルメール……。現実のものとは思えない。歴史的建造物のはざまに立っただけでも信じられず、すごい……。ここって本当にウィーンだよね?!と何度もつぶやいていた。欲を言えば、まだまだあの雰囲気浸っていたかったなあ。

#### 五所川原市 伊東正雄

今回の研修旅行で感動したことが三つあります。

- ①クリムトの点描の色彩の豊かさ
- ②教科書で見た「パベルの塔」
- ③ヨーロッパの石畳

特に石畳は身体で味わいました。また、参加者の皆様も、一緒に参加してとても礼儀正しく、楽しい方々でした。今回の企画に参加して大変良かったです。

#### 五所川原市 伊東美紀子

6泊8日の中欧旅行。長いかと思っ



オーストリア・ウィーン・ベルベデーレ宮殿

たらあつという間に楽しく、充実した日々が過ぎてしまいました。オーストリアとチェコ、ハンガリーでは、同じ世界遺産でも歴史的建造物でもその意味、歴史的背景に大きな違いがあることを考えさせられました。美術史美術館をもっと時間をかけてじっくり見学したかったなあとは思いましたが、ある程度テーマを絞った旅行を企画していただいたことに感謝します。添乗員の押切さん始め、個性豊かな運転手さん、ガイドさん達が旅行を更に素晴らしいものにして下さったと思います。

また、27名の仲間達のお陰で心地良い時を過ごせました。有難うございました。



# 模型のタミヤがやってきた 2

Part

## — 少年の心、今走り出す! —

2019年 8月10日(土) → 9月8日(日) —会期中無休—



前回よりも更にパワーアップして帰ってくる「タミヤ展」。模型の魅力、本物の迫力を感じていただける展示会となっております。皆様のご来館お待ちしております。



特別展「模型のタミヤがやってきた」が帰ってきます!  
(株)タミヤは国内のみならず、海外にも多くのファンを持つ、日本を代表する模型メーカーです。  
世界を魅了するタミヤのプラモデル、ラジオコントロールモデル、ミニ四駆など子どものころから慣れ親しんだ模型が美術館を埋め尽くします。  
さらに今回はタミヤが所蔵するフォーミュラカー「タイレルP34」を展示します。F1史上唯一の6輪でグランプリを走ったとして名高い「タイレルP34」は、6輪というその独特のスタイルが注目を集め、初登場から40年以上経った今でも人気があるマシンの一つです。世界にも数台しか現存しておらず、1978年にタミヤに所蔵されてから県外に出されたのはわずか一回。東北地方では初となる本物と出会える貴重な機会となります。

## 夏休み体験イベント

### ★親子でミニ四駆工作教室

日程 / 8月24日(土)・25日(日)

時間 / 60分

体験料 / 1,300円 (アルカリ電池2本付き)

定員 / 1回あたり15名 (※付き添いの方は1名まで)

時間 / ①10:30 ~ 11:30 ②13:00 ~ 14:00

③15:00 ~ 16:00

### ★特別講演「プラモデルができるまで」

日程 / 8月31日(土)・9月1日(日)

講師 / 新田泰三氏 (株式会社タミヤ 催事課)

9:30 ~ ギャラリートーク (※館内を解説しながらご案内します)

10:00 ~ 講演「プラモデルができるまで」

10:30 ~ 体験 ミニ四駆工作教室 ~ 12:00 / 解散

参加費 / 1000円 (ミニ四駆材料費)

定員 / 親子15組

参加人数に限りがございますので、事前に予約が必要です。定員に達した場合は、受付を終了することがございますので予めご了承ください。

※小学生未満の方のご参加は保護者の付き添いをお願いします。

※イベント参加の方は、入館された方が対象となります。

予約受付: 8月10日 10:00より TEL 0176-62-5858

## タイレルp34

### 東北初展示!



1975年に発表され、1976年、1977年のレースシーンで注目を集めた異色のフォーミュラカー「タイレルp34」の実車を会場に展示。F1史に残る伝説の1台が鷹山宇一記念美術館にやってきます!

入館料 / 一般 1000(800)円、高校・大学 400(320)円、小・中学生 200(160)円

※( )内は前売券及び20名様以上の団体割引料金

※その他、各種割引料金(10%)

開館時間 / 午前10時 ~ 午後6時

(最終入館は午後5時30分)



堀文子《春の花籠》

4月27日(土)初日を迎えた特別展「時を超えても花ひらく 椿はTSUBAKI〜あいおいニッセイ同和損保コレクション」。

本展は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の特段のご高配による、膨大なコレクションの中から、43人の芸術家による、日本画、洋画、工芸約60点を借りて展覧しております。

会期は7月28日(日)まで。日本を代表する芸術家達の作品を、目の当たりにご鑑賞いただけるまたとない貴重な機会です。皆様のご来館心よりお待ちしております。

←尾形光琳

《椿図蒔絵硯箱》



→岸田劉生  
《籠椿》

4月26日(金)  
開催式・レセプションパーティー



■テープカット/写真右から、公益社団法人二科会常務理事・吉野毅様、七戸町教育委員会教育長・附田道大様、あいおいニッセイ同和損保株式会社青森支店支店長・藤本和也様、七戸町長・小又勉様、前七戸町議会議長・田嶋輝雄様、青森朝日放送株式会社取締役営業局長・大和田堅二様、当財団理事長・新谷勝弘

今後のイベント

7月13日(土) 17:00~

特別記念講演会

講師：三村三千代先生

(八戸学院大学短期大学部客員教授)

※講演会に参加される方は、日付印の付いたチケットが必要となります。



「椿展」にちなんだお話をさせていただきます。

5/25、6/1「ウスバシロチョウを採集しよう！」



七戸町には通常のウスバシロチョウよりも白い(白化型)のウスバシロチョウが生息しているということで、探しに行きました！ウスバシロチョウはたくさん飛んでいて、みなさん上手に採集していましたが、残念ながら白化型のウスバシロチョウは発見できませんでした。

ちようちよくらぶ

—活動中!—

美術館開館25周年を記念して、特別企画「ちようちよくらぶ」が始動しました。活動内容「蝶」をテーマに蝶の採集から観察、標本作りを行います。そして作った標本は秋に開催の「宇一が描いた蝶」展に展示し、鑑賞会を行うことで、鷹山作品に登場する「蝶」の新たな一面の発見につなげたいと願い企画したものです。

ゴマダラチョウを飼育しました。

ちようちよくらぶでは「ゴマダラチョウ」を飼育しました。

幼虫から成虫になるまで数回脱皮を繰り返す、様々な姿を見せてくれました。あんなに小さかった幼虫が立派な蝶になって羽化した瞬間はとても感動しました。

次回は採集した蝶を使用して標本作りを行います！



立派な  
ゴマダラチョウに！



最初は茶色だった小さな幼虫が、脱皮を繰り返し緑色になり、どんどん大きくなってサナギに。最後は白と黒の模様がなんとも美しい蝶になって羽化しました。

# 椿はTSUBAKI展 「特別ワークショップ」



特別展「椿はTSUBAKI」に合わせて椿をテーマにワークショップを行いました。1回目は「ペーパーリングで椿を作ろう」、2回目は「消しゴムはんこで椿を彫ろう」です。  
講師はスクール美Minorriの佐伯知美氏です。



★5月18日(土)は、「ペーパーリングで椿を作ろう」です。

長い紙をぐるぐる丸めてパーツを作り、それを組み合わせいろいろな形に仕上げていくペーパーリングです。椿の色は赤色と白色から選びます。大人は赤色が、子どもには白色が人気でした。色を決めたらパーツを作ります。パーツが出来たらボードで貼り付けていきます。椿の花は6枚の花びらで表現します。3枚は台紙に直に



接着し、残りの3枚は浮かせて接着します。細かいパーツをつくる事も大変ですが、配置が一番難しいポイントで慎重に作業していました。



★6月15日(土)は、「消しゴムはんこで椿を彫ろう」です。消しゴムはんこは、初めての人でも彫りやすいように表面に色がついた専用の消しゴムを使います。トレーシングペーパーに椿の絵を描き、消しゴムに移します。大人はカッターで、カッターを



使い慣れていない子どもは彫刻刀で、彫っていきます。花びらや、丸い型などいろいろな形の椿のはんこができました。丸い椿は、熊谷守一や竹久夢二の椿を連想します。彫り上がったはんこを、無地のバッグに思い思いに押し、オリジナルバッグの完成です。佐伯先生ありがとうございました。



東京都美術館に「板院展」も見に行ってきました!!

実は・・・

H30年度に行ったワークショップ「年賀状木版画」の参加者子ども部5名、大人の部10名の作品が会場に!!  
しかも、子供の部からは入賞者が1名出ました!!

【いざ、年賀状展示会場へ】・・・



東京都美術館にて

サクラレパス賞



入賞作品がありました!!  
七戸小学校6年  
佐藤晋くんの作品です



入選した子どもの部4作品、大人の部10作品も会場にありました!!



ワークショップでの様子です。

# 美術館日誌

## ◆4月◆

▼2日(火) 辞令交付式  
▼10日(水) タミヤ展打合せ  
(株)タミヤ催事課新田氏・

▼11日(木) 開館25周年記念画集打合せ  
RAB佐々木氏  
(長尾印刷)

▼13日(土) 友の会監査  
(美術館2階)

▼17日(水) 七彩会  
▼15日(月) 馬との暮らし展作品撤去  
▼14日(日) 収蔵作品監査会  
(理事長・監事・

▼19日(金) タミヤ展関連物収納  
保管場所下見(生涯学習課  
▼20日(土) 椿展看板取付  
(青森スタジオ)

▼21日(日) 椿展借用作品確認  
(遠藤/東京マルイ美術  
▼24日(水) 椿展展示作業  
(東京マルイ美術)

▼26日(金) 「時を超えて花ひらく」  
椿は「SUBAKI」  
あじおニッセイ同和損保(レシヨウ)

開催式・テープカット

◆5月◆  
▼8日(水) 会計監査会  
(監事・常務理事・成田

▼11日(金) 県総務部長・鉄永正紀氏来館  
▼13日(土) 理事会(美術館2階)  
クラウドファンディング打合せ

▼16日(木) 渡辺貞一作品貸出打合せ  
(常磐ふるさと資料館あすか)  
クレジットカード・  
電子マネー装置設置

▼18日(土) ワークショップ(2階工房)  
「パークイリングで椿を作ろう」  
講師:佐伯 知美氏  
▼19日(日) 七彩会  
▼21日(火) 県民カレッジ連携機関  
連絡会議出席  
(美術館2階)

▼21日(火) 全国美術館会議総会出席  
(遠藤/札幌)

▼25日(土) 蝶採集(1)  
(ちようちよくらぶ  
友の会役員会  
(杉屋敷奥山

▼26日(日) 評議員選定委員会  
定時評議員会  
臨時理事会  
(31日(金)  
東京・静岡出張(館長)

▼28日(火) ホームページ打合せ  
(株)材・織川

◆6月◆  
▼1日(土) 蝶採集(2)  
(ちようちよくらぶ)  
▼2日(日) 開館25周年記念図録写真撮影  
(美術館2階)

▼3日(月) タミヤ展打合せ  
(RAB佐々木氏・館長・遠藤  
▼6日(木) 消防設備点検(昭和電気)

▼8日(土) 友の会総会(美術館2階)

▼10日(月) あじおニッセイ同和損保特別内覧会

▼12日(水) 青森出張  
(遠藤/青森県立美術館  
▼13日(木) 自動ドア点検  
(ナブコシステム)

▼15日(土) ワークショップ(2階工房)  
「消しゴムはんこで椿を彫ろう」  
講師:佐伯 知美氏  
友の会会報発送作業

▼29日(土)

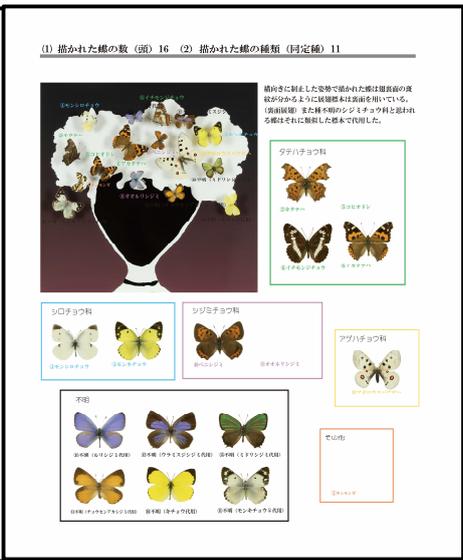
# クラウドファンディング に挑戦します。

-開館25周年記念事業実行委員会の挑戦-



私たちはこんな展覧会図録  
が作りたい!!  
鷹山宇一初の展覧会図録です。  
ご支援お願いいたします。

ご支援いただいた方のお  
名前は図録に掲載いたし  
ます。  
返礼品など詳細は同封の  
チラシをご覧ください。



大きさは標本箱の比率です

2頁に引き続き「中欧3ヶ国周遊・美術紀行8日間」の一言旅行記を紹介します。

東北町 内山照子

今回の旅で一番不安だった飛行機ですが、原田会員のご厚意で往復とも友人達と楽しい空の旅ができたことに、ただただ感謝でした。

プラハ、ウィーン、ブタペスト。どこもみんな素晴らしく夢のようでした。

現地ガイドの皆さんの説明も最高でした。旅のスケジュールも充実していて、安心して楽しむことができました8日間でした。ありがとうございます。

十和田市 奥山憲子

正に感動の旅、8日間でした。一生に一度はぜひ行ってみたいと思っていたヨーロッパ。雑誌の切り抜きの様な街並みはフレームをどこにおいても飾りたいと思わせる雰囲気です。また、ウィーン国立オペラ座でのシヤンパンを片手に20分間の休憩は、まるで映画のワンシーンにでも登場した私、夢みたいですね。このようなステキな旅行に参加でき



て、とても良かったと共に改めて我が国、日本もヨーロッパ同様素晴らしい美しい国に住んでいる事を誇りに思います。

七戸町 奥山雅子

一年がかりで打ち合わせをして、あつという間の8日間でした。次はアメリカ、ニューヨーク、メトロポリタン美術館、ブロードウェイミュージカルという方がいて、5年後と言わず、3年後で計画をという声がありますが、私もそろそろ引退です。どうぞ若い方、よろしくお願い致します。

八戸市 片桐まゆみ

美術館のわか会員になり、旅行に参加させて頂きました。美術館で観た各々の絵画も勿論ですが、その詳細な説明をメモを取りながら鑑賞する姿に驚くやら頭が下がりました。中欧というなかなか個人では選択しない行程もとても魅力的でした。年代も背景も異なる皆様と楽しく過ごすことができ、企画いただいた皆様にも感謝します。どこかで見かけたら声をかけて下さい。ありがとうございました。

十和田市 菊地章子

新緑の季節のせいか木々の緑やマ

ロニエの花がさわやかで美しかったです。

ドナウ川のクルージングも周りの景色が幻想的で素晴らしかった。ヨーロッパはお城や美術館、音楽等格調高く、芸術的な国と思う。機会があったら、また、ぜひ訪れたいと思います。

七戸町 工藤敦子

まずは下山会長お疲れ様。感謝します。足腰に不安のある参加でしたが、暖かい中欧の何もかも素晴らしさに痛みを忘れ、楽しい旅になった。本当にお陰様でした。マロニエの香りの満ちたプラハ、クリムトの「接吻」の鑑賞、ドナウ川のクルーズの夜景：などなど。良き旅だった。企画して下さい事務所に感謝します。

青森市 古川睦子

老若男女：元気な方達に囲まれてのとても楽しい旅でした。感動の中欧3ヶ国：感動の連続でした。企画、お世話して下さい頂いた役員の方には本当に感謝です。又、参加したいです。ありがとうございます。

十和田市 近藤眞子

この度の旅行、多少の不安もありましたが、それぞれの国、美術館、優れた建造物、そして街並み。いずれも感動の連続でした。優れた芸術を巡る旅は、私は初めてでしたので、尚さら意義深い体験でした。企画して下さいました多くの方々に感謝するのみです。本当にありがとうございます。最後の最後までドジでした、申し

し訳ありません。

十和田市 下山恭美子

「中欧3ヶ国感動の旅8日間」と銘打って出発した海外研修旅行が終わろうとしている。数年前訪れたことのある国だったが、美術館友の会の創立25周年記念として計画された旅であり、また年度初めの比較的時間に余裕のある時期だったので、決心した。

吟味された内容の中、少しの緊張と感動の連続で、改めて旅の楽しさを満喫できた。特に今回は若い年齢層の会員の参加が多く、華やいだ雰囲気でも和気あいあい、新たな交流も生まれて良かったとつくづく感謝するばかり……。無事帰路に向かってホッと安堵の胸をなで下ろしているところである。



掲載写真

上段 プラハ城内の聖ヴィート大聖堂  
二段 ブタペスト・聖シュテファン大聖堂  
下段 ウィーン・シェーンブルン宮殿

～令和元年度第2回研修旅行のご案内～

# 「ホキ美術館展・写実絵画の魅力！」

令和元年度友の会研修旅行をご案内致します。

令和元年度 第2回研修旅行

日時：令和元年 8月25日(日)

研修先：盛岡市 岩手県立美術館

参加費：7,000円(入館料、昼食代、交通費等含む)

募集人員：先着30名(最少催行人員は20名)

申込期限：令和元年 8月11日(日)

申込先・問い合わせ先：鷹山宇一記念美術館

## 研修行程(予定)

7:30 七戸南公民館  
 7:40 鷹山宇一記念美術館～十和田市  
 8:40 八戸高速IC経由  
 10:30 岩手県立美術館  
 13:00 昼食(盛岡市内ホテル予定)  
 15:00 盛岡市内出発  
 18:00 七戸南公民館着

※詳細日程は、後日参加者にお送りします。



森本草介 <<未来>>

2011年 ホキ美術館蔵

◆ホキ美術館は日本で初めての写実絵画専門美術館として、2010年に千葉市にオープンしました。以来、全国各地、海外からも多くの来館者があり、大勢の方々に写実絵画の魅力を伝えています。創設者・保木将夫氏が収集したそのコレクションは約60作家480点を数え、対象に向き合い細密に描かれた写実作品は、近年の絵画における写実ブームの火付け役にもなりました。

本展ではホキ美術館のコレクションから、26作家 64点の作品を厳選して紹介します。森本草介、野田弘志といった日本の写実絵画における第一人者から中堅・若手まで、幅広い層の作家の作品をご覧ください。また、岩手会場では県人作家の藤井勉、高澤俊郎の作品を特別出品します。本県初公開となる作品の数々を存分にご堪能ください。(岩手県立美術館HPより引用)

## 友の会会員登録の更新と 新規会員入会お誘いのお願い

平成30年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有り難う御座います。  
 今年度も鷹山宇一記念美術館の心援と会員の皆様方に喜んで頂けるよう研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。  
 尚、令和元年度の更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と郵便振替により随時行っておりますので、会員各位の協力をお願い致します。

### ○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行 年2～3回
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金の協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他 美術講演会の開催等

### ○一般会員

年会費(個人) 3千円  
 特典 ①無料入館券3枚 会員証提示により入館料2割引

### ○特別会員

年会費(個人法人) 1万円  
 特典 ①会員証提示により個人法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館  
 ②新規加入の方に画集1冊贈呈  
 ③研修会 講演会の招待 優待  
 ④他美術館等の視察研修の優待参加  
 ⑤会報の配布

### ○賛助会員

年会費(個人法人) 2万円  
 特典 ①会員証提示により個人法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館  
 ②新規加入の方に画集1冊贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

## ◎ミュージアム グッズ紹介

- ★新「鷹山宇一画集」一冊 二千円+消費税
- ★鷹山宇一素描集 一冊 千円+消費税
- ★会報合本Ⅱ 一冊 千円+消費税



☆特別展開催中は、特別展に合わせたグッズを取り揃えております。  
 どうぞご利用ください。  
 ☆お問合せ先  
 鷹山宇一記念美術館

## 編集後記

友の会設立25周年記念の第7回友の会研修旅行「友の会」が、9月15日(日)に、鷹山宇一記念美術館で開催されました。初回は、鷹山宇一記念美術館の歴史と、鷹山宇一記念美術館の魅力を、皆様にお伝えしたいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。(照井壽一)